

件名：

【中部防災推進ネットワーク】メールマガジン Vol.5

本文：

2021年1月22日

■+■-----
+■┘ 中部防災推進ネットワーク メールマガジン Vol.5
■┘-----

各 位

中部防災推進ネットワークの参画メンバーの皆さまに、メールマガジン（2021年1月号）を配信します。

※メールマガジンのバックナンバー、これまでの会合の発表資料等は中部防災推進ネットワークホームページに掲載しています。

<中部防災推進ネットワークホームページ URL>

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/chububosai-nw.html>

1. 会長 年頭のご挨拶

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。昨年は、年初から covid-19 が席卷し、地球規模での価値観の見直しが迫られました。産業界も、人流・物流が途絶えたことで、観光業や運輸業、飲食業などが致命的な打撃を受け、サプライチェーンに依存する製造業も、大きな痛手を受けました。

大規模な地震や火山噴火はありませんでしたが、熊本豪雨や台風 10 号では、感染症との複合災害の様相を呈しました。風水害の激甚化により、ハードのみの治水対策では災害抑止が困難になっており、流域治水や立地適正化などの新たな施策が必要になっています。また、首都圏での covid-19 の蔓延は、三密の典型である大都市の問題点を露わにし、首都一極集中の是正や自律分散型の

国土形成の必要性を示しています。

一方で、産業界では危機管理を考える気運が広がり始め、中部産業界が先導しています。一昨年10月に名古屋で開催された防災推進国民大会で、産業防災推進の必要性が合意されたのを受け、7月に中部防災推進ネットワークが設立されました。多数の業界団体に参画していただき、各業界の強みと弱みを情報共有しつつ、業界間の共助を進みつつあります。事務局には、内閣府防災担当、防災推進協議会を代表する日本損害保険協会、中部経済産業局、あいち・なごや強靱化共創センター（愛知県、名古屋市、名古屋大学）が参画し、中部地方整備局や各県の防災担当、中部経済連合会などがオブザーバー参加しており、まさに産官学が連携した全国に先駆けた取り組みになります。

中部の取り組みは他地区にも広がりつつあります。中部経済連合会は他の経済団体連合会と防災連絡会を立上げ、日本商工会議所は、南海トラフ地震の被災が予測される名古屋市、静岡市、和歌山市、高知市、広島市の各商工会議所が参画する地域BCM研究会を立ち上げました。各地で名古屋モデルを参考に、防災対策を推進する機運ができつつあります。

行政でも、新たな取り組みが始まりつつあります。愛知県と名古屋市は、県営名古屋空港の隣接地に防災拠点を整備する方針を明らかにしました。大学でも、文部科学省が本年度から着手した「防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト」の中で、発災時の企業の事業活動停止を防ぐための研究がスタートしました。

産官学が一体となって、災害被害を減じるだけでなく、災害を逞しく乗り越える新たなビジネスを創出するよう、今年も皆様と一緒に頑張っていきたいと思っております。

2. 本ネットワークの参画団体のご紹介

(1) 日本気象協会

日本気象協会は、気象・環境・防災・情報サービスを

通じて、『安全・安心・快適な社会づくり』を目指して 1950 年 5 月に設立され創立 70 周年を迎えました。事業所は全国に 5 支社 7 支店等で構成、従業員数は 812 名(うち、中部支社は 39 名)です。

昨今、気象の激甚化や地球温暖化、エネルギー問題、情報化社会の進化、超高齢化・少子化社会の到来など、世の中の状況が大きく変化してきています。日本気象協会は、気象に関する調査・予測技術を結集し、「気象×○○」の考え方で高精度な「商品・電力需要予測」、「エネルギーマネジメント」、「激甚気象災害や気候変動への気象リスクマネジメント」、「交通・海運支援」、「テレビ、ラジオ、新聞、メディアを通じた気象情報等を提供」を行っています。これからも世の中の変化に対して、データの蓄積と技術という強みを生かし、「自然界と調和した社会」の創生を目指し未来を切り開いてまいります。



<日本気象協会 URL>

<https://www.jwa.or.jp/>

(2) 日本建設業連合会

日本建設業連合会は、総合建設業者(ゼネコン)を主な構成員とする唯一の団体です。

事業の目的は、「建設業に係る諸制度をはじめ建設産業の諸問題の解決に取り組むとともに、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進することにより、わが国建設産業の健全な発展を図り、国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与すること」です。

中京圏では、包括災害協定を各団体(中部地整、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県、名古屋市、静岡市、浜松市、NEXCO 中日本、名古屋高速、水資源開発機構)と締結し、大規模な自然災害発生時に被災地域の住民の救援と安全を確保、被災構造物の応急復旧等の災害対応活動を組織的に行います。また、大規模災害発生時には、技術者派遣や資機材調達などの支援活動を全国レベルで実施しております。



<日本建設業連合会 中部支部 URL>

https://www.nikkenren.com/about/shibu_5.html

3. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ
(防災イベントの予定等)

(1) 名古屋大学からのお知らせ

①第163回防災アカデミー(※オンライン開催)

○開催日時

2021年2月19日(金) 18:00~19:30

○内容

災害と看護のいま

○講師

神原 咲子 様(高知県立大学看護学部看護学科教授)

○開催概要

東日本大震災から10年を迎えようとした2020年、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行に見舞われ、多くの看護師が病院だけでなく、地域や家庭での最前線で奔走することとなりました。

この新たな社会の局面で、脆弱な人々の目の前にある健康課題や災害リスク、人の手で人を助けるケアを、いくつかの災害ケースとともに考えたいと思います。

○参加費

無料

○ご案内ページ URL

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=17005>

○申し込みページ URL

<https://forms.gle/VidWgwxpz3pi6XS88>

②第111回げんさいカフェ(※オンライン開催)

○開催日時

2021年2月9日(火) 18:00~19:30

○内容

ここで備える地震学—地震に対する恐怖を軽減し、

今日を大切に生きるー

○企画・ファシリテータ

隅本 邦彦 様 （江戸川大学教授／名古屋大学減災
連携研究センター客員教授）

○ゲスト

光井 能麻 様

○開催概要

専門家として、そして一人の市民として、地震に備えて
どのような知識を伝えることができるのか、どのよう
な心構えができるのかなどを考えてみます。

○参加費

無料

○ご案内ページ URL

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=16979>

○申し込みページ URL

<https://forms.gle/c5ZyV9sx1LktidTZA>

(2) 事業継続推進機構 BCAO からのお知らせ

○イベント名

2020 年度 第 4 回 普及啓発セミナー（中小企業）

2020 年度 第 5 回 普及啓発セミナー（水害と事業継続）

○開催日時

第 4 回 ： 2021 年 2 月 9 日（火） 13:00～16:10

第 5 回 ： 2021 年 2 月 25 日（木） 13:00～16:00

○開催場所

各受講者端末前（テレビ会議システム「Zoom」を活用）

<申込ページ URL>

<http://www.bcao.org/seminar/index.html>

※「セミナー・イベント」の一覧からお申込みください。